

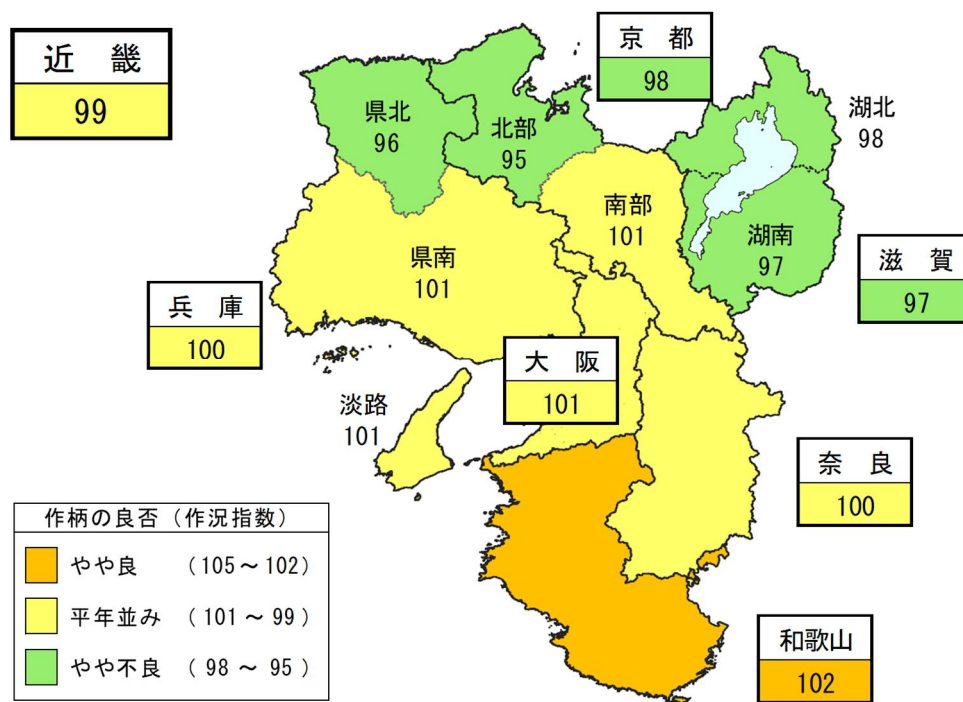
作物統計調査 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量 (近畿)

－ 近畿の作況指数は99（10a当たり予想収量503kg）の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は9万9,300haで、前年産に比べ1,600haの減少が見込まれる。うち主食用作付面積は9万1,200haで、前年産に比べ1,600haの減少が見込まれる。
- 2 9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は503kgで、前年産に比べ14kgの減少が見込まれる。
- 3 主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は45万7,900tで、前年産に比べ2万1,600tの減少が見込まれる。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99が見込まれる。

図 水稻の府県別・作柄表示地帯別作況指数（9月25日現在）



- ・ 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である。
- ・ 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- ・ 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
- ・ 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終わっていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移

1 近畿

年 産	作付面積 (青刈り面積 を含む。)	子実用	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha		kg	t	ha	t	
平成25年産	110,600	109,400	518	567,200	106,900	554,000	102
26	109,500	108,000	497	537,100	104,500	519,900	98
27	107,900	105,800	508	537,200	101,900	517,700	100
28	107,000	104,500	516	538,700	100,500	519,000	102
29	106,000	103,200	510	526,600	99,400	507,000	100
30	105,800	103,100	502	517,500	99,500	498,700	98
令和元	105,200	102,600	503	516,400	99,000	498,000	99
2	104,100	101,300	490	496,000	97,700	478,000	96
3	103,000	99,300	503	499,700	95,700	481,800	99
4	100,900	96,400	517	498,400	92,800	479,500	102
5 (概数値)	99,300	..	503	..	91,200	457,900	99

資料：農林水産省統計部『作物統計』（2～7の統計表において同じ。）

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である（以下同じ。）。

2 10 a 当たり収量及び収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量（令和5年産は予想）である（以下同じ。）。

3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である（以下同じ。）。

4 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり（予想）収量の比率であり、平成26年産以前の作況指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（近畿は1.80mm）以上に選別された玄米を基に算出していた。令和2年産以降は、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下同じ。）。

5 「..」は、未発表であることを示している（以下同じ。）。

2 滋賀県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成25年産	33,800	33,400	kg	t	ha	t	102
26	33,600	33,000	502	176,700	32,000	169,300	97
27	33,200	32,200	518	165,700	31,300	157,100	100
28	33,000	31,900	534	166,800	30,600	158,500	104
29	32,900	31,700	517	170,300	30,200	161,300	100
30	32,900	31,700	512	163,900	30,000	155,100	99
令和元	32,900	31,700	509	162,300	30,100	154,100	98
2	32,400	31,100	509	161,400	30,200	153,700	98
3	32,100	30,100	519	158,300	29,700	151,200	100
4	31,400	29,000	523	156,200	28,900	150,000	101
5 (概数値)	30,600	..	504	151,700	27,700	144,900	97

3 京都府

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成25年産	15,600	15,500	kg	t	ha	t	104
26	15,400	15,200	530	82,200	15,300	81,100	99
27	15,200	15,000	507	77,100	14,900	75,500	100
28	15,100	14,800	510	76,500	14,400	73,400	101
29	15,100	14,800	516	76,400	14,300	73,800	100
30	14,900	14,700	510	75,000	14,100	71,900	98
令和元	14,700	14,500	502	72,800	13,900	69,800	99
2	14,600	14,400	505	72,700	13,800	69,700	98
3	14,500	14,300	501	71,600	13,800	69,100	99
4	14,400	14,200	504	71,600	13,600	68,500	101
5 (概数値)	14,300	14,000	514	72,000	13,400	68,900	98

4 大阪府

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用 ha					
平成25年産	5,640	5,640	kg	t	ha	t	101
26	5,550	5,550	495	28,300	5,630	28,300	100
27	5,550	5,550	495	27,500	5,540	27,400	100
28	5,450	5,440	495	26,900	5,440	26,900	102
29	5,320	5,310	505	26,800	5,310	26,800	99
30	5,160	5,150	506	24,700	5,000	24,700	102
令和元	5,010	5,010	494	24,300	4,850	24,300	101
2	4,860	4,850	502	22,200	4,700	22,200	94
3	4,710	4,700	472	22,600	4,620	22,600	99
4	4,630	4,620	490	22,800	4,540	22,800	102
5 (概数値)	4,550	4,540	503	..	4,430	22,200	101

5 兵庫県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用					
平成25年産	38,900	38,400	506	194,300	37,500	189,800	100
26	38,600	37,900	487	184,600	36,500	177,800	97
27	38,200	37,300	501	186,900	35,700	178,900	99
28	38,000	37,000	501	185,400	35,400	177,400	100
29	37,700	36,600	501	183,400	35,100	175,900	100
30	38,000	37,000	492	182,000	35,500	174,700	98
令和元	37,900	36,800	497	182,900	35,300	175,400	99
2	37,600	36,500	477	174,100	34,800	166,000	95
3	37,200	35,800	491	175,800	34,100	167,400	98
4	36,200	34,500	513	177,000	32,800	168,300	102
5 (概数値)	36,000	..	500	..	32,500	162,500	100

6 奈良県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用					
平成25年産	9,250	9,190	527	48,400	9,150	48,200	103
26	9,130	9,060	514	46,600	9,040	46,500	100
27	8,980	8,870	515	45,700	8,850	45,600	100
28	8,830	8,710	525	45,700	8,680	45,600	102
29	8,730	8,610	521	44,900	8,580	44,700	102
30	8,660	8,580	514	44,100	8,530	43,800	100
令和元	8,560	8,490	515	43,700	8,450	43,500	100
2	8,540	8,480	482	40,900	8,430	40,600	92
3	8,520	8,440	512	43,200	8,400	43,000	100
4	8,510	8,410	522	43,900	8,350	43,600	102
5 (概数値)	8,350	..	515	..	8,200	42,200	100

7 和歌山県

年 産	作付面積 (青刈り面積を含む。)		10 a 当たり 収 量	収 穫 量 (子実用)	主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	作況指数
	ha	子実用					
平成25年産	7,380	7,380	506	37,300	7,380	37,300	102
26	7,230	7,230	492	35,600	7,230	35,600	99
27	6,900	6,900	499	34,400	6,900	34,400	101
28	6,720	6,720	507	34,100	6,720	34,100	102
29	6,560	6,560	507	33,300	6,560	33,300	102
30	6,430	6,430	492	31,600	6,430	31,600	99
令和元	6,360	6,360	494	31,400	6,360	31,400	99
2	6,250	6,250	462	28,900	6,250	28,900	92
3	6,100	6,100	497	30,300	6,100	30,300	100
4	5,990	5,980	519	31,000	5,980	31,000	105
5 (概数値)	5,790	..	505	..	5,780	29,200	102

【調査結果】

1 近畿

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は9万9,300haで、前年産に比べ1,600haの減少が見込まれる。

なお、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は9万1,200haで、前年産に比べ1,600haの減少が見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、兵庫県及び和歌山県が「少ない」、滋賀県、京都府及び大阪府が「やや少ない」、奈良県が「平年並み」となった。

1穂当たりもみ数は、滋賀県、大阪府、兵庫県及び和歌山県が「やや多い」、京都府及び奈良県が「平年並み」となった。

登熟は、滋賀県が「やや不良」と見込まれるものの、その他の府県では「やや良」が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は503kgで、前年産に比べ14kgの減少が見込まれる。府県別では、滋賀県が504kg、京都府が498kg、大阪府が502kg、兵庫県が500kg、奈良県が515kg、和歌山県が505kgと見込まれる。

農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99の「平年並み」が見込まれる。府県別では、滋賀県が97、京都府が98の「やや不良」、大阪府が101、兵庫県及び奈良県が100の「平年並み」、和歌山県が102の「やや良」と見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は45万7,900t（前年産に比べ2万1,600t減少）が見込まれる。

表1 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（近畿）

農業地域 ・ 府 県	作付面積（青刈り 面積を含む。）		10 a 当たり予想収量						主食用 作付面積	予想収穫量 （主食用）	
			実数	前年産と の比較	農家等が使用しているふるい目幅で選別						
	実数	最も多い 使用割合 の目幅			10 a 当たり 予想収量	10 a 当たり 平年収量	作況指数				
	実数	前年産と の比較	①	対 差	②	③	④	⑤＝③/④	⑥	⑦＝①×⑥	
	ha	ha	kg	kg	mm	kg	kg		ha	t	
近 畿	99,300	△1,600	503	△ 14	…	480	484	99	91,200	457,900	
滋 賀	30,600	△ 800	504	△ 19	1.90	470	483	97	27,000	136,100	
京 都	14,100	△ 200	498	△ 16	1.85	482	492	98	13,200	65,700	
大 阪	4,450	△ 100	502	△ 1	1.80	485	478	101	4,430	22,200	
兵 庫	36,000	△ 200	500	△ 13	1.85	477	477	100	32,500	162,500	
奈 良	8,350	△ 160	515	△ 7	1.80	502	500	100	8,200	42,200	
和歌山	5,790	△ 200	505	△ 14	1.80	497	485	102	5,780	29,200	

注：1 ①10a 当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

2 ③10a 当たり予想収量、④10a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

なお、②最も多い使用割合の目幅の近畿については取りまとめていないため「…」で示している。

3 主食用作付面積及び予想収穫量（主食用）については府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

4 表中の「△」は、減少したものを示す（以下同じ。）。

2 滋賀県

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は3万600haで、前年産に比べ800haの減少が見込まれる。なお、主食用作付面積は2万7,000haで、前年産に比べ700haの減少が見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、5月下旬～6月上旬の日照不足等の影響により分げつが抑制されたことから「やや少ない」となった。

1穂当たりもみ数は、幼穂形成期が天候に恵まれたこと、穂数がやや少なくなったことによる補償作用があったことから「やや多い」となった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、「やや多い」となった。

登熟は、出穂・開花期である7月下旬～8月中旬が記録的な高温となった影響により、不稔もみが平年より多く発生したことから「やや不良」が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は504kgで、前年産に比べ19kgの減少が見込まれる。作柄表示地帯別は、湖南が510kg（前年産に比べ22kg減少）、湖北が490kg（同15kg減少）と見込まれる。

滋賀県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.90mm）の作況指数は97の「やや不良」が見込まれる。作柄表示地帯別は、湖南が97、湖北が98の「やや不良」が見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は13万6,100t（前年産に比べ8,800t減少）が見込まれる。

表2 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（滋賀）

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり予想収量		主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③＝①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較 対 差		
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
滋 賀	30,600	△ 800	97	504	△ 19	27,000	136,100

表3 水稻の10a当たり予想収量及び作柄概況（9月25日現在）（滋賀）

区 分	10a当たり予想収量					作柄概況（平年比較）			
	実数 ①	農家等が使用しているふるい目幅で選別				穂数の 多少	1穂当 たりも み数の 多少	全もみ 数の多 少	登熟の 良否
		最も多 い使用 割合の 目幅 ②	10a当 たり予 想収量 ③	10a当 たり平 年収量 ④	作況指 数 ⑤＝③／④				
	kg	mm	kg	kg					
滋 賀	504	1.90	470	483	97	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良
湖 南	510	…	477	491	97	やや少ない	やや多い	やや多い	やや不良
湖 北	490	…	455	464	98	やや少ない	多い	やや多い	やや不良

注：②最も多い使用割合の目幅の作柄表示地帯については取りまとめていないため「…」で示している（以下同じ。）。

3 京都府

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は1万4,100haで、前年産に比べ200haの減少が見込まれる。なお、主食用作付面積は1万3,200haで、前年産に比べ200haの減少が見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、5月下旬～6月下旬の断続的な日照不足の影響により分けつが抑制されたことから「やや少ない」となった。

1穂当たりもみ数は、作期の早い地域では梅雨時期の日照不足の影響がみられたものの、穂数がやや少なくなったことによる補償作用があったことから「平年並み」となった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから、「やや少ない」となった。

登熟は、出穂期以降は多照傾向で推移していること、全もみ数がやや少なくなったことによる補償作用が見込まれることから「やや良」が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は498kgで、前年産に比べ16kgの減少が見込まれる。作柄表示地帯別は、南部が520kg（前年産に比べ1kg減少）、北部が473kg（同33kg減少）と見込まれる。

京都府の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は98の「やや不良」が見込まれる。作柄表示地帯別は、南部が101の「平年並み」、北部が95の「やや不良」が見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は6万5,700t（前年産に比べ3,200t減少）が見込まれる。

表4 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（京都）

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり予想収量		主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③＝①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較 対 差		
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
京 都	14,100	△ 200	99	498	△ 16	13,200	65,700

表5 水稻の10a当たり予想収量及び作柄概況（9月25日現在）（京都）

区 分	10a当たり予想収量					作柄概況（平年比較）			
	実数 ①	農家等が使用しているふるい目幅で選別				穂数の 多少	1穂当 たりも み数の 多少	全もみ 数の多 少	登熟の 良否
		最も多 い使用 割合の 目幅 ②	10a当 たり予 想収量 ③	10a当 たり平 年収量 ④	作況指 数 ⑤＝③／④				
	kg	mm	kg	kg					
京 都	498	1.85	482	492	98	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良
南 部	520	…	500	496	101	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良
北 部	473	…	463	488	95	やや少ない	やや少ない	少ない	やや良

4 大阪府

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は4,450haで、前年産に比べ100haの減少が見込まれる。なお、主食用作付面積は4,430haで、前年産に比べ110haの減少が見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、5月下旬～6月下旬の断続的な日照不足等の影響により分けつが抑制されたことから「やや少ない」となった。

1穂当たりもみ数は、幼穂形成期が天候に恵まれたこと、穂数がやや少なくなったことによる補償作用があったことから「やや多い」となった。

全もみ数は、穂数がやや少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、「平年並み」となった。

登熟は、出穂期以降、気温・日照時間ともに平年を上回って推移しており「やや良」が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は502kgで、前年産に比べ1kgの減少が見込まれる。

大阪府の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は101の「平年並み」が見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は2万2,200t（前年産に比べ600t減少）が見込まれる。

表6 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（大阪）

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり 予想収量		主食用 作付面積	予想収穫量 （主食用）
	実 数	前年産との比較		実 数	前年産との比較		
		対 差	対 比			①	対 差
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
大 阪	4,450	△ 100	98	502	△ 1	4,430	22,200

表7 水稻の10a当たり予想収量及び作柄概況（9月25日現在）（大阪）

区 分	10a当たり予想収量					作柄概況（平年比較）			
	実数	農家等が使用しているふるい目幅で選別				穂数の 多少	1穂当 たりも み数の 多少	全もみ 数の 多少	登熟の 良否
		最も多い 使用割合 の目幅 ②	10a当たり 予想収量 ③	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤＝③／④				
	kg	mm	kg	kg					
大 阪	502	1.80	485	478	101	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良

5 兵庫県

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は3万6,000haで、前年産に比べ200haの減少が見込まれる。なお、主食用作付面積は3万2,500haで、前年産に比べ300haの減少が見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、5月下旬～7月上旬の断続的な日照不足の影響により分けつが抑制されたことから「少ない」となった。

1穂当たりもみ数は、幼穂形成期が天候に恵まれたこと、穂数が少なくなったことによる補償作用があったことから「やや多い」となった。

全もみ数は、穂数が少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、「やや少ない」となった。

登熟は、出穂期以降はおおむね天候に恵まれていること、全もみ数がやや少なくなったことによる補償作用が見込まれることから「やや良」が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は500kgで、前年産に比べ13kgの減少が見込まれる。作柄表示地帯別は、県南が504kg（前年産に比べ11kg減少）、県北が474kg（同30kg減少）、淡路が508kg（同2kg減少）と見込まれる。

兵庫県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.85mm）の作況指数は100の「平年並み」が見込まれる。作柄表示地帯別は、県南及び淡路が101の「平年並み」、県北が96の「やや不良」が見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は16万2,500t（前年産に比べ5,800t減少）が見込まれる。

表8 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（兵庫）

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり予想収量		主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③＝①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較		
		対 差	対 比		対 差		
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
兵 庫	36,000	△ 200	99	500	△ 13	32,500	162,500

表9 水稻の10a当たり予想収量及び作柄概況（9月25日現在）（兵庫）

区 分	10a当たり予想収量					作柄概況（平年比較）			
	実数 ①	農家等が使用しているふるい目幅で選別				穂数の 多少	1穂当 たりも み数の 多少	全もみ 数の 多少	登熟の 良否
		最も多い 使用割合 の目幅 ②	10a当たり 予想収量 ③	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤＝③／④				
	kg	mm	kg	kg					
兵 庫	500	1.85	477	477	100	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
県 南	504	...	479	476	101	少ない	やや多い	やや少ない	やや良
県 北	474	...	464	483	96	少ない	やや多い	少ない	やや良
淡 路	508	...	474	471	101	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良

6 奈良県

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は8,350haで、前年産に比べ160haの減少が見込まれる。なお、主食用作付面積は8,200haで、前年産に比べ150haの減少が見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、6月下旬の日照不足により分けつが抑制されたものの、7月以降はおおむね高温・多照傾向で推移したことから「平年並み」となった。

1穂当たりもみ数は、幼穂形成期が天候に恵まれ「平年並み」となった。

全もみ数は、穂数、1穂当たりもみ数ともに平年並みとなったことから、「平年並み」となった。

登熟は、出穂期以降、気温・日照時間ともに平年を上回って推移しており「やや良」が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は515kgで、前年産に比べ7kgの減少が見込まれる。

奈良県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は100の「平年並み」が見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は4万2,200t（前年産に比べ1,400t減少）が見込まれる。

表10 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（奈良）

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり予想収量		主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③＝①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較		
		対 差	対 比		対 差		
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
奈 良	8,350	△ 160	98	515	△ 7	8,200	42,200

表11 水稻の10a 当たり予想収量及び作柄概況（9月25日現在）（奈良）

区 分	10a 当たり予想収量					作柄概況（平年比較）			
	実数 ①	農家等が使用しているふるい目幅で選別				穂数の 多少	1穂当 たりも み数の 多少	全もみ 数の 多少	登熟の 良否
		最も多い 使用割合 の目幅 ②	10a 当たり 予想収量 ③	10a 当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤＝③／④				
	kg	mm	kg	kg					
奈 良	515	1.80	502	500	100	平年並み	平年並み	平年並み	やや良

7 和歌山県

(1) 作付面積

令和5年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は5,790haで、前年産に比べ200haの減少が見込まれる。なお、主食用作付面積は5,780haで、前年産に比べ200haの減少が見込まれる。

(2) 作柄概況

穂数は、5月上旬及び6月上旬の低温・日照不足の影響で初期分けつが抑制されたことや疎植栽培が進んでいることなどから「少ない」となった。

1穂当たりもみ数は、幼穂形成期が高温・多照で経過したこと、穂数が少なくなったことによる補償作用があったことから「やや多い」となった。

全もみ数は、穂数が少なく、1穂当たりもみ数がやや多くなったことから、「やや少ない」となった。

登熟は、出穂期以降はおおむね天候に恵まれていること、全もみ数がやや少なくなったことによる補償作用が見込まれることから「やや良」が見込まれる。

9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は505kgで、前年産に比べ14kgの減少が見込まれる。

和歌山県の農家等が使用しているふるい目幅ベース（1.80mm）の作況指数は102の「やや良」が見込まれる。

(3) 予想収穫量（主食用）

主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は2万9,200t（前年産に比べ1,800t減少）が見込まれる。

表12 令和5年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量（和歌山）

区 分	作付面積（青刈り面積を含む。）			10 a 当たり予想収量		主食用 作付面積 ②	予想収穫量 （主食用） ③＝①×②
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較 対 差		
		対 差	対 比				
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
和 歌 山	5,790	△ 200	97	505	△ 14	5,780	29,200

表13 水稻の10a 当たり予想収量及び作柄概況（9月25日現在）（和歌山）

区 分	10a 当たり予想収量					作柄概況（平年比較）			
	実数 ①	農家等が使用しているふるい目幅で選別				穂数の 多少	1穂当 たりも み数の 多少	全もみ 数の 多少	登熟の 良否
		最も多い 使用割合 の目幅 ②	10a 当たり 予想収量 ③	10a 当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤＝③／④				
	kg	mm	kg	kg					
和 歌 山	505	1.80	497	485	102	少ない	やや多い	やや少ない	やや良

【統計表】

https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/xls/05_sakkyou_suitou0925.xlsx

【調査の概要】

- ・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

- ・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、近畿農政局ホームページの「令和5年度 農林水産統計公表予定及び公表結果」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2023.html#y1013>

- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載（令和6年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和5年11月上旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、近畿農政局ホームページに掲載します。
- ・ 全国の統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/>

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

【お問合せ先】

◎本統計調査結果について

近畿農政局統計部生産流通消費統計課

電 話：（代表）075-451-9161 内線2656

（直通）075-414-9650

近畿農政局 滋賀県拠点 統計チーム

電 話：（直通）077-522-4344

近畿農政局 大阪府拠点 統計チーム

電 話：（直通）06-6941-9659

近畿農政局 奈良県拠点 統計チーム

電 話：（直通）0742-32-1874

近畿農政局 統計部 統計調査チーム

電 話：（直通）075-366-2005

近畿農政局 兵庫県拠点 統計チーム

電 話：（直通）078-391-2873

近畿農政局 和歌山県拠点 統計チーム

電 話：（直通）073-436-3835

◎農林水産統計全般について

近畿農政局統計部統計企画課

電 話：（直通）075-414-9620



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



スマホでみる農林統計

★ 近畿の府県別、市町村別の主要農林水産統計データを
スマートフォンで簡単に閲覧できます。

近畿農政局ホームページから、PDF ファイルをダウンロードして、
御利用いただけます。動作には、別途 Adobe Reader が必要です。

URL： <https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/smapho/PDF/200403.pdf>

